

図書館だより

下関市立大学附属図書館

第五十号



今年の夏は、人ならぬモノと遊びませう

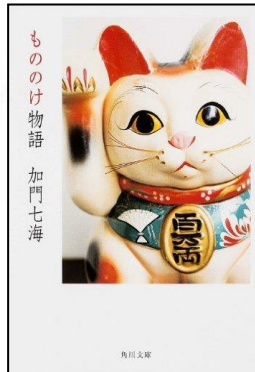
春学期試験が終わればよいよ夏休みですね。海や山で思いきり遊んだり、実家に帰省して家族や友人と楽しい時間を過ごしたり……。ところで皆さん、下関には夏にぴったりのとても有名な怪談があるんです。誰もが一度は聞いたことがある「耳なし芳一」の舞台は、赤間神宮なんですよ。

と言うわけで、今回の図書館だよりでは、寝苦しい夏にぴったりの涼しくなる本の一部をご紹介します。図書館入口にも「人ならぬモノ」という企画展示コーナーをご用意してます。長期貸出も始まるので、クーラーがなくてもぞっとすること請け合いのこの企画、是非ご覧ください。

ああ、でも例え「何か」が起これてしまっても……図書館は責任を負えませんので、あしからず。

初級編

怖いのが苦手な方向け



作者の加門さんは、自他ともに認める視えてしまう人。豪快な性格の彼女が会う、日常のひとこまの中に潜む怪異でいっぱいの本です。可愛いのにぞわぞわします。



「日々のオバケ」の言葉通り、オバケだらけの短編集。でも彼らは決して怖くない。それどころか一度会ってみたいほど魅力的なオバケたち。オバケが苦手なあなたも是非。

中級編

怖いのは平気な方向け



「ジョーカーゲーム」の作者によってアレンジされた、小泉八雲の怪談。むじなや食人鬼などのおなじみの怪談が新たな顔を覗かせます。中級者にお勧め。



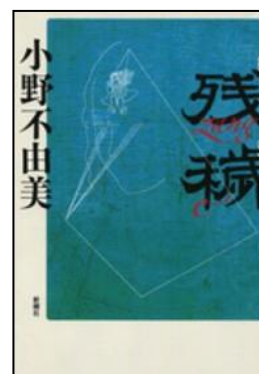
漫画・アニメ化した根強い人気の、小野不由美が贈る科学とオカルトの両面から怪奇現象を追いかけるゴーストハンター達。小説と侮るなかれ、かなり怖いです。

上級編

怖い話が大好きな方向け



日本を代表する女性怪談作家達が実際に行った百物語の実録集。死霊生霊なんでもござれ。どれだけ面白くても、決して一日で読み終わらないで下さいね……ご安全に。



映画化も決定した作品。読者から寄せられた怪談をきっかけに、作者に忍び寄る怪異。先が気になるのに指先から呪いが浸透するような恐怖が読者にも襲い掛かります。